

介護職員専門研修Ⅰ 開催要綱

趣旨 高齢者・障がい者施設等に勤務する介護職員が、介護の質の向上のために必要な知識・技術を習得することを目的に開催します。

<この研修のポイント>

- チーム全体で支援の方向性を共有するための視点を整理します
- 事故やトラブルを防ぐための考え方を構造的に捉えます
- 機能低下の背景と仕組みを理解し、機能維持のための介助アプローチを学びます

<こんな方におすすめ>

- チームの一員として、より主体的に関わりたいと考えている方
- 安全と自立支援のバランスについて見つめ直したい方
- 日々の介護実践を、あらためて専門的な視点で整理したい方

開催形式

オンライン（①WEB 会議システム Zoom ミーティングによるライブ配信及び ②オンデマンド配信）

※ライブ配信とオンデマンド配信の両方をご受講ください。

対 象

現職経験年数が3年以上の施設介護職員ならびに訪問介護員

定 員

- (1) 札幌・(2) 札幌：各80名
(2) 旭川・(4) 函館・(5) 釧路・(6) 帯広・(7) 北見：各40名

日 程

区 分	①ライブ配信	②オンデマンド配信
(1) 札幌	6月 5日 (金)	6月12日(金)～ 7月24日(金)
(2) 札幌	10月20日 (火)	10月27日(火)～12月 8日(火)
(3) 旭川	6月23日 (火)	6月30日(火)～ 8月10日(月)
(4) 函館	7月22日 (水)	7月29日(水)～ 9月 9日(水)
(5) 釧路	8月 5日 (水)	8月12日(水)～ 9月24日(木)
(6) 帯広	9月 1日 (火)	9月 8日(火)～10月20日(火)
(7) 北見	9月25日 (金)	10月2日(金)～11月13日(金)

※ライブ配信とオンデマンド配信の両方をご受講ください。

※地域に関わらず、ご都合のよい日程で申込みことができます。

研修費用

4,000円（共通教材費）

申込期間

- (1) 札幌 令和8年4月10日(金) ~ 5月8日(金)
- (2) 札幌 8月10日(月) ~ 9月8日(火)
- (3) 旭川 4月10日(金) ~ 5月8日(金)
- (4) 函館 5月11日(月) ~ 6月8日(月)
- (5) 釧路 6月10日(水) ~ 7月8日(水)
- (6) 帯広 7月10日(金) ~ 8月7日(金)
- (7) 北見 7月10日(金) ~ 8月7日(金)

受講可否

- (1) 札幌 令和8年5月15日(金)
 - (2) 札幌 9月14日(月)
 - (3) 旭川 5月15日(金)
 - (4) 函館 6月16日(火)
 - (5) 釧路 7月15日(水)
 - (6) 帯広 8月14日(金)
 - (7) 北見 8月14日(金)
- までにご連絡します。

プログラム

①ライブ配信

日程・時間	研修科目	研修内容
9:15~9:50	受付	
9:50~10:00	オリエンテーション	日程、資料等の確認
10:00~12:30	講義1: 演習 「自立支援を実現するためのチームケアと多職種連携の実践」	<p>利用者が自分らしい生活を継続するためには、多職種が連携し、それぞれの専門性を活かしたチームケアが機能していることが重要です。</p> <p>自立支援の視点から多職種連携の意義を再確認し、チームとして「何を共有し、どう判断するか」を整理します。</p> <p>事例検討を通じて、介護職員が現場で担うべき役割や発信力について考え、実践につながるチームケアのあり方を学びます。</p>
12:30~13:30	休憩・昼食	
13:30~16:00	講義2: 演習 「介護現場におけるリスクマネジメントの重要性と実践」	<p>リスクマネジメントは、利用者の安全確保やサービスの質の向上に加え、介護職員自身の安全を守るためにも不可欠です。</p> <p>介護現場で発生し得る様々なリスクの種類や特徴について理解を深め、事故やトラブルを未然に防ぐ視点を養います。また、事例演習を通じて、リスク要因の捉え方や分析方法を学び、現場で実践できる対応策について検討します。</p> <p>さらに、ヒヤリハット報告書や事故報告書、日々の記録が果たす役割と重要性を理解し、情報を正確に共有するための記録のあり方について学びます。</p>

②オンデマンド配信

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	講義 3 「機能低下を防ぐ支援の考え方」	<p>介護現場において、安全確保を目的とした介助や配慮が、結果として活動量の減少に伴う機能低下を招くことがあります。</p> <p>機能低下が生じる背景や仕組みを理解したうえで、疾患特性を含めた身体・認知機能の特徴を踏まえ、日常的なケアの視点を整理します。</p> <p>また、過度な介助によるリスクを回避し、残存能力を活かす具体的な介助アプローチや機能低下を予防する考え方を学びます。</p>
約 90 分	講義 4 < R 7 再配信 > 「介護過程の重要性」	<p>介護過程は、利用者の生活の質を向上させるだけでなく、介護職員自身の業務効率を高め、仕事へのやりがいや自信を深めるためにも重要なプロセスです。</p> <p>アセスメントを通じた利用者のニーズの把握から、適切な介護計画の作成、支援の実施、そして評価・改善に至る一連の流れを体系的に学びます。</p> <p>また、実際の事例を交えながら、適切な判断や対応のポイントを理解し、より質の高い介護を提供するための視点を養います。</p>

本研修は、北海道の委託を受け実施します。